

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成29年度第1回松阪市文化センター運営委員会
2. 日 時	平成29年6月8日(木) 午後7時00分から午後8時30分
3. 場 所	農業屋コミュニティ文化センター リハーサル室
4. 出席者名	(委員) ◎梶 吉宏 ○中西 幸男・森本 小百合・青木 昭・柴田 実 ・海住 さつき・南 昇・萩原 則子 (◎委員長 ○副委員長) 8名出席 (事務局) 文化課鈴木係長・石田主任・村田クラギ文化ホール館長・上 村主幹・乾係員・和氣嬉野ふるさと会館館長・竹内飯南産業 文化センター所長 7名出席
5. 公開・非公開の別	公開
6. 傍聴者数	無し
担当	松阪市川井町690番地 クラギ文化ホール 担当者 : 館長 村田 益之 電 話 0598-23-2111 FAX 0598-23-2114 e-mail bunka.kai@city.matsusaka.mie.jp

議題

1. 平成28年度自主事業実績について
2. 平成29年度自主事業について
3. 平成30年度自主事業候補について

議事録

別紙

平成 29 年度第 1 回松阪市文化センター運営委員会議事録

日時 平成 29 年 6 月 8 日(木) 19 時 00 分～20 時 30 分

場所 農業屋コミュニティ文化センター リハーサル室

委員 ◎梶 吉広、○中西 幸男、森本 小百合、青木 昭、柴田 実、海住 さつき、南 昇、
萩原 則子 8 名

※ ◎委員長、○副委員長

事務局 鈴木 真喜、石田 賢太郎、村田 益之、上村 良知、乾 雅輝、和氣 清章、
竹内 信介 7 名

傍聴者 無し

事務局 本日は何かとお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。それでは只
今から平成 29 年度第 1 回松阪市文化センター運営委員会を開催させていただきます。

会議に先立ちまして机の上に委嘱状を置かせていただきました。これから年に 3 回開催
しますので計 6 回の運営委員会を行いますのでよろしくお願いします。

それではまず事項書の 1、館長の挨拶ということで、村田館長よろしくおねがいします。

館長 皆さんこんばんは。この 4 月に館長に就任しました村田と申します。よろしくお願い
を致します。今年度は委員の交代の時期ということでございまして、再任をお受け頂きま
した委員さんお願い致します。また新しく委員になられた方には 2 年間ではありますが、
文化センターの運営についてご意見を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

この会館の設置目的につきましては、文化の向上と福祉の増進に寄与することであり、
来年度の自主事業が文化の振興、市民の方によかったと思われるような事業になるように
皆様の意見を頂戴したいと思います宜しく願いを申しあげます。

事務局 次に運営委員の方も半数の 5 名の方が交代しておりますので、皆様事務局も含め自己
紹介を簡単に結構ですので、事務局側から自己紹介をさせていただきますのでよろしくお願い
致します。(委員 8 名 事務局 7 名の自己紹介)

事務局 それでは事項書 2 に進めさせていただきます。

委員長及び副委員長の互選ということで、まずは委員長の推薦をお願いします。

委員 委員長に梶委員をお願いしたいと思います。

副委員長に中西委員をお願いします。

委員長に梶委員、副委員長に中西委員に決定される。

事務局 では事項書 3 の、委員長、副委員長のご挨拶という事で、まず梶委員長から一言お願いいたします。

委員長 改めまして三重県文化会館の梶と申します。私は県の文化会館の館長をやっております、松阪市と組織的にも全然違うところがあり、私ども県の方は財団法人になっておりますので非常に自由がきいて出来ますが、ここは市の直営のためいろんな制約もあって、なかなか難しい所がありますけど、そこを何とかその条件の中でもベストを尽くせるようにということで、皆さんに色々ご意見を賜りながら、いいものにしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

事務局 ありがとうございます。では次に副委員長ご挨拶をお願いします。

副委員長 失礼します。中西といいます。この運営委員会ですが、今新しい委員の方の思いといたしますか、委員さんが言われたように、その思いがこの運営委員会にどう生かされるのかと思ひながら、委員になった方の期待に少しでも答えられればいいなと思ひながらお話を聞かせて頂きました。2年間よろしくお願ひします。

事務局 ありがとうございました。

それでは議題に移らせて頂きます。議題 4 報告事項に移りたいと思ひます。松阪市文化センター運営委員会規則第 5 条に基づきまして、委員長が会議の議長となりますので、議事進行につきましては、梶委員長よろしくお願ひします。

委員長 それでは議事を進行させて頂きたいと思ひます。

まず報告事項の「平成 28 年度自主事業実績について」のご報告をお願いします。

事務局 はい。それでは資料 4 をご覧ください。まずクラギ文化ホールの方からご説明させて頂きます。7 月 8 日に「ワンコインコンサート in 松阪バンドネオン三浦一馬」を開催しました。入場者は 847 名となり、アンケートからは奏者のテクニックと音色に感動しましたというお声を頂きました。次に 7 月 29 日に「舞台裏見学会」を開催しました。午前の部と午後の部と 2 回に分けて開催し、合計 58 名の参加があり、参加者は親子での参加、大人のみでの参加もあり、特にピンスポットライトの照射体験が非常に好評でした。次に 8 月 27 日に「津軽三味線・吉田兄弟コンサート 2016」を開催しました。入場者は 993 名となり、兄弟での二人の息がぴったり合った迫力ある演奏、照明の演出が素晴らしかったと好評を頂きました。次に 10 月 8 日に「中部フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会」を開催しました。入場者は 629 名と若干見込み数より少なくなりました。次に 10 月 20 日に「ワンコインコンサート in 松阪ギター村治奏一」を開催しました。832 名の入場者

となり、来場者からはクラシックギターの優しい音色に癒されたひと時だったと好評を得ました。次に10月30日に「第6回松阪の第九」を開催しました。入場者数は950名となり第6回となり、定着したコンサートとなっており、毎回聞きに来られる方もみえる人気のコンサートとなっております。又指揮者の橘直貴さんの解説も非常に分かりやすく良かったと好評を得ました。

続きまして農業屋コミュニティ文化センターです。8月4日、5日に「スタインウェイピアノ演奏体験会」を開催しました。両日とも定員の12組での体験となりました。次に10月5日、6日に優秀映画鑑賞事業の「なつかしの映画鑑賞会」を開催しました。5日は332名、6日は残念ながら179名と少し振るわなかったです。映画の人気の入場者数が左右されたのかなと思っております。

続きまして嬉野ふるさと会館です、7月2日、3日にスタインウェイピアノの演奏体験会を開催しました。こちら各定員の12組が参加されました。次に2月26日に「親子のためのクラシックコンサート音楽の絵本」開催しました。入場者数は712名となり、定員の706名を上回っているのは膝上に3歳未満の子を乗せて観覧された方もカウントしましたので、712名となっております。これは平成19年に最初に嬉野で上演されて、その後数回開催されておりますが親子で楽しめるコンサートととして人気の衰えない作品となっております。

続きましてハートフル三雲スポーツ文化センターです。12月10日に「ユッコミラーバンドライブ in マツサカ」を開催しました。入場者数は170名と見込み数を大幅に下回ってしまいました。しかしコンサートの方に来場された方はパワフルなコンサートになりましたと大変好評でした。

続きまして飯南産業文化センターです。9月17日に「川嶋あいアコースティックコンサート」を開催しました。入場者数は240名となり、見込み数より若干少なくなりました。これも場所が松阪の中心から離れている事と、人気があるアーティストではありませんでしたが、ファン以外はあまり関心がなかった事が響き入場者数が見込みを二割ほど下回ったと考えられます。

続きまして文化芸術団体共催事業に移らせて頂きます。まず7月3日に「永遠のスクリーンミュージックⅢ」を開催しました。こちらはピアノ・声楽・フルートの三団体による合同コンサートになり、懐かしい映画音楽に魅了されたと大変好評でした。次に9月11日に「第6回松阪市民ギター音楽祭」を開催しました。この第6回目より前日に嬉野ふるさと会館の多目的ホールでフェスティバル部門の独奏・重奏の部門を開催しまして、翌11日に同じくフェスティバル部門の合奏部門を午前中に開催し、そして午後に古川忠義さんによるコンサートを開催されました、非常に好評を得ております。次に9月25日に「コーラス若草40周年記念コンサート」を開催しました。設立40周年記念コンサートということで、入場者数の方も満席状態で衣装・歌声と共に大変好評を得ました。そして最後に11月3日に「第3回松阪市民能」の開催がありました。子供が演じる能の演技が大変好評でしたが、日程が氏郷祭りと同じ日に重なってしまって入場者数の方が伸び悩んでしまいました。以上16件の報告になります。

委員長 はい。ありがとうございました。平成 28 年度の文化センターでの自主事業の結果の報告でした。これらについて何かご質問やご意見がございましたらどうぞ。

委員 開催の時期が大体 7 月から 10 月位に集中してるのは、何か理由があるんですか。

事務局 これは、昨年度クラギ文化ホールが 11 月 1 日から工事に入りまして、翌年の 3 月 31 日まで工事でしたので、10 月 31 日までに集中しております。

委員長 他に何かご質問ございますか。どうぞ何でもおっしゃってください。

委員長 じゃあ今の自主事業、平成 28 年の自主事業の実績についてはよろしいですか。では、平成 29 年度の自主事業についてお願いします。

事務局 それでは、資料 5 をご覧ください。まず、クラギ文化ホールから説明させていただきます。7 月 12 日に「ワンコインコンサート in 松阪チェロ新倉瞳」を開催します。新倉さんはスイスのチューリッヒを拠点に活躍する実力派のチェリストです。次に 7 月 30 日に「お母さんといっしょガラピコぷ〜がやってきた」を開催します。これは NHK の親子向けの番組で一日あたり 2 公演となります。大変好評でチケットは完売となっております。次に 8 月 10 日に「舞台裏見学会」を開催します。次に 9 月 21 日に「ワンコインコンサート in 松阪ジャズピアノ細川千尋」を開催します。細川さんは 2013 年にはスイスのモントルー・ジャズ・フェスティバル・ソロ・ピアノ・コンペティションにおいて、日本人女性初のファイナリストとなりました実力派のピアニストです。次に 8 月 29 日に「野村万作・萬斎の狂言の世界」を開催します。今最も有名で人気のある狂言師による舞台を堪能していただけるものとなります。次に 10 月 7 日に「南こうせつコンサート 2017」を開催します。南こうせつさんはご存知かと思いますが、元かぐや姫のリーダーです。次に 10 月 12 日に「ワンコインコンサート in 松阪フルート上野由恵」を開催します。上野さんは東京藝術大学出身でアカンサス音楽賞を受賞して首席で卒業された実力の持ち主です。次に 11 月 18 日に「中部フィルハーモニー交響楽団第 10 回松阪定期公演演奏会」を開催いたします。今年は松阪市の吹奏楽連盟とのコラボしブラスの曲を演奏されます。次に 12 月 10 日に恒例の「第 7 回松阪の第九」を開催します。定着しました好評のベートーベン第九のコンサートとなります。今回は第 7 回目で指揮者に大谷正人さんを演奏は伊勢管弦楽団となっております。第 1 部には地元のコーラスによるソロの歌声をお聴かせいただくことになります。次に 2 月 8 日に「加羽沢美濃のクラシック音楽講座」を開催します。加羽沢さんは 2012 年 4 月より NHK のらららクラシックに出演されている方であり、今回の定員は 100 名ということで直接舞台に上がっていただいて加羽沢さんのピアノを囲んでレクチャーを受けられるというとてもお値打ちな企画となっております。

続きまして、農業屋コミュニティ文化センターの方に映ります。8月3日、4日に「スタインウェイピアノの演奏体験会」を開催します。スタインウェイピアノというのは世界三大ピアノの一つで、スタインウェイピアノ以外にベーゼンドルファーとベヒシュタインというピアノがあります。次に10月19日、20日で優秀映画鑑賞推進事業としまして、「なつかしの映画鑑賞会」を開催します、今回は木下恵介監督の作品を開催することになります。

続きまして嬉野ふるさと会館では、7月8日、9日に「スタインウェイピアノ演奏体験会」を開催します。

続きまして、飯南産業文化センターです。10月1日に「吉本のお笑いライブ」を開催します。地元の若手芸人も出演するライブということになっています。また、宮川大助・花子も出演するということとなりました。（※後日、都合により宮川大助・花子から、西川のりお・上方よしおに変更。）

続きまして、文化芸術団体共催事業の方へ移ります。まず、9月2日、3日に「第7回松阪市民ギター音楽祭」を開催します。去年と同様に2日は嬉野ふるさと会館の多目的ホールでフェスティバル部門の合奏、重奏を、3日にフェスティバル部門とコンサートを農業屋コミュニティ文化センターで開催します。午後のコンサートですが、今回のゲストはTwinkleさんになります。Twinkleさんは全日本ギターコンクールの重奏部門で最優秀賞、ギター音楽大賞アンサンブル部門で金賞を受賞している実力派です。今年で結成が13年目となり、何よりもハートフルアンサンブルとしてのキラキラサウンドが大人気であると聞いております。次に11月3日に「第4回松阪市民能」を開催となります。最後に3月3日に「永遠のスクリーンミュージックⅣ」というのを開催となりまして、平成29年度は合計17件の開催となります、以上です。

委員長 はい、ありがとうございます。それでは平成29年度の自主事業につきまして、ご質問とかご意見お伺いしたいと思います。

委員 市民能の入場料が千円に上がっていますが、何故この額に上がったのか。

事務局 能楽連盟の方で反省会をされ、500円では少しもったいないということで千円の値打ちはあるだろうということになり千円となりました。当初は500円で計画してたんですけども、後日変更されて、千円となりました。

委員長 よろしいですか、みなさん資料をご覧ください、共催と書いてありますが、この意味を初めての方はお分かりにならないんじゃないかなと思いますので、事務局、共催の意味の説明を尾根がします。

事務局 資料3をご覧ください。資料3の上から4つ目になります、「優れたステージや市民が要望するステージを鑑賞する機会を業者との名義共催により提供する」という、通常は

その下の買取事業の自主事業となります。今回の共催事業といいますのが、買い取らず、例えば一定の保証金を支払って共催という形にして、チケット収入は相手のプロモーターが受け取る、市の負担は一定の保証金だけで済むことになります。今年でいいますと、おかあさんといっしょガラピコぷ〜がやってきた、と野村万作・萬斎狂言の世界が一定の保証金を払っての共催事業になり、あと南こうせつさんにつきましては、保証金も無しの無料での共催事業となっております。

委員長 共催というのは、買い取りにすると赤字が出た時にこちらが払わなければならない。そういうリスクを軽減するために共催ということなる、会場はもちろんうちが用意しますよと。それから興行によるんですが、例えば 100 万はうちの保証金として出しましょうと、それ以上はチケットが売れようと売れまいとそちらさんの方で責任もってくださいよという形でやってるものです。それで事業が成っていくと。結果的には赤字が出たら次の年は NO となっちゃいますので、基本的には向こうもそこそこ利益が出てこちらもこういう所で続けるところがあるんです。そういう事業でご理解いただきたい。それからもう一つ文化芸術団体の共催事業というのが最後にありましたね、これについてもご説明を。

事務局 この資料 3 の裏面の最後の箇所をご覧ください。松阪市には、団体が 13 団体ございます。この団体が、年 1 回限りなんですが会館を使つてのコンサート等を開催する場合に松阪市との共催事業となり、会館の使用料等は免除されるというところになります。市の費用負担は、駐車場整理の委託料等ぐらいになり、あとは団体さんの支出となります。

委員 浜田の御神楽なんかの上演ありますよね。

事務局 観光交流課がやっている事業で。石見神楽ですね。

委員 鑑賞系だとかこの普及系、創造系ってありますよね。最もこれから力を入れていくっていうのは、どの辺の系統を狙ってるのですか。

事務局 創造系、普及系に力を入れたいと思っております。見るだけじゃなくて市民が参加して、これからの文化芸術を高めていくということがいいと思います。

委員長 それでは 29 年度のところはいかがでしょう。飯南の吉本、宮川大助、花子さんだったら、お客さん来てくれると思うんですけどね。若手って書いてあるので、若手じゃあまず来ないだろうなと思ったんですけど。まあ是非満席にしていいただければと。やっぱりこれ位大物呼ばなきゃ、人来てくれませんよ。ちょっと安心しました。

委員 今まで飯南産業文化センターでは、前回も川嶋さんでその前もしおりさん、お客さん入

ってなかった経緯がありましたよね。で、地域性をもうちょっと考えてしていただく方がいいんじゃないかっていう話をさせてもらって。今回はお笑いライブになってるので満席になるんじゃないかと思います、今回に関しては。

委員長 他に何か。よろしゅうございますでしょうか。じゃあ、平成 29 年度の自主事業については承認いただいたということで。次は協議事項に移らせていただきたい。30 年度についてはみなさんに、こういうことをもっとやったらどうかとご意見いただければ、これは現実に出来る可能性もありますので。何かご提案を。

委員 ここの我々が旗振りをすべき、または既にしてる部分では、どんなものが旗振りとして具体的にやられてる例がございますでしょうか。例えば文化振興ということでどこの小中学校行っても合唱部とかありますね、それから演奏する部も持っていますね、例えば今月は合唱ですね、今月は吹奏楽、今月は何か違う種目の演奏とか、何かそういうのはやられてるんですか。

事務局 高校生を中心に自主事業ではないんですが、文化課で毎年 1 回吹奏楽フェスティバルと合唱フェスティバルというのを開催しております。

委員 それは高校生なんですか。

事務局 まず、私ども文化課の事業で、松阪合唱フェスティバルというのがございまして、こちらにつきましては、松阪市内の合唱団と公募による一般の合唱団とですね、あと小学生、幼児と保護者、高校、中学の方の合唱団で合唱フェスティバルを毎年 10 月にさせていただいてます。あと毎年 1 月に吹奏楽フェスティバルがございまして、小学生の吹奏楽のバンドが 1 団体しかございませんけれども、あとは中学生の吹奏楽部、高校の吹奏楽部、社会人の吹奏楽団の吹奏楽フェスティバルというのをさせていただいてます。

委員 次に、松阪市の色々な地域で伝統芸能をそれぞれの地域でお祭りみたいなことを兼ねてやられてることがあるんですけど、色々な地域でやられてるんですけど。それをその地域だけじゃなくて、松阪市として何かこういう所でですね、まとめて市民に披露するということもどっかがやられてるんでしょうか。

事務局 教育委員会の生涯学習課の方で民謡民舞の大会を毎年開催しております。

委員 民謡と民舞ですか。

委員 分会の各団体、地区の一つずつが出てきて文化祭っていうんじゃないですけど、それは伝統芸能とかを各地区から出してここでやりました。

事務局 毎年やってるわけではないですけども、無形民俗文化財の発表会は、各団体に入っているだけで、毎年ってわけではないです、何年かに一回こちらのクラギ文化ホールでやっておられます。

委員 例えば、飯南で代表的なてんとかありますね。三雲だったら曾原、笠松のかんこ踊り、曾原獅子舞とか色々されていて、その地域でなくこういうものを一つの伝統芸能として、会館でやればと思うんですけど。

委員 私も大賛成です。松阪もですね、非常に有益な文化を松阪でご披露いただくとか、僕は非常に有意義なことではないかと思っております。

委員 もう一つはですね、伝え残す繋ぐ、その伝承なんですけども。どこも多分伝承ってところで苦勞されている、伝承の旗振りをここが色々されてお互いが苦勞しないといけないと思うんです。

事務局 今のお話なんですけども、無形民俗文化財を色々おっしゃっていただいた、それにつきましては、平成 25 年度からこのクラギ文化ホール等ではないんですが、文化財センターの方で県指定、市指定、そういった節目の年を迎える団体様にご協力いただきまして、文化財センターで展示のイベントをさせていただいております。活動していただいております団体さんもそうですし、例えば今年ですと、8 月下旬に飯南の本郷かんこ踊り、こちらはちょっと現在休止中なんですけれども、今、お話いただきましたようにそういった展示イベントをすることで、こういったものがあるということをお伝えさせていただいたり、また何かの切っ掛けになればいいということでそういったイベントにつきましては、文化財センターで毎年させていただいておりますので、またよろしければ、見ていただいてご感想がありましたら、是非伺い出来ればと思います。

委員 私はそういう所に行ってなくて、何周年とかじゃなくして、毎年開催するには難しい点とか多々あるかと思うんですが、もう少し市民の目に触れる機会を増やしてはいいのかなと思いますね。そういう努力されているのは私知らなかったもので、一度その際には、是非見に行きたいと思います。

委員長 はい。30 年の自主事業については資料 6 で一応候補というのがある。このお話を伺って更にプラスアルファでやりたいと思います。まずみなさんご覧ください。

事務局 はい、分かりました。それでは平成 30 年の自主事業の選考候補についてクラギ文化ホールから説明させていただきます。まず、一般的な催しとしましては、一つ目に中村雅俊のコンサートを考えております。次に中部フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会ですが、こちらも中部フィルさんが共催事業として毎年してもらっているのでは可能です。

なっております。次にワンコインコンサートです。これは三重県文化会館で主となるコンサートで松阪、四日市、尾鷲の会場でも開催しているものとなります。これを 2 本程度考えております。4 番目としては、松阪の第九を 30 年度は第 8 回目になりますが、こちらにも引き続き開催したいと考えております。続きましては、親子向けの催し物として、はいだしょうこと谷本賢一郎、しまじろうのコンサート、ミュージカル人魚姫等になるんですが、ミュージカルは非常に集客率が低いのでちょっと厳しいかと思うんですが、候補には挙げさせていただきました。続いてスタインウェイピアノ演奏体験会、舞台裏見学会につきましても、継続したいと考えております。そして、シニア向けの催しとして、農業屋コミュニティ文化センターでなつかしの映画鑑賞会を継続したいと考えております。それでは次に嬉野ふるさと会館となります、お願いします。

事務局　嬉野ふるさと会館です。本日もスタインウェイピアノ体験会、受付終了になっております。これも引き続き子どもたちの体験としてしたいです。先ほどからの話出てきております体験型という形で歌舞伎が 7 月 23 日から 8 月 31 日の間、NPO 法人の日本伝統芸能振興会の方がこちらの方に公演ツアーというのをご紹介いただいておりますので、歌舞伎の楽しみ方のワークショップの方と太刀盗人という形の参加型の公演が出来ればという風に考えております。

事務局　次に飯南産業文化センターさんお願いします。

事務局　29 年度で自主事業は無くすと決定したんですが、出来ればミニコンサートとか、予算 30 万位いただいて、地域の頑張ってみえる人とかそういう人に声かけて、2 本くらいは手軽な形でみなさんに来ていただけるものを開催したいと思っております。以上です。

委員長　はい、すいません。じゃあこれに関してでも結構ですし、フリーに先ほど委員さんからありましたように何かこんなことということでご意見があれば伺いたいと思います。何かございますでしょうか。

委員　はい。シニア向けが中心であとは親子向けが、中間向けっていうのが何処でやっても人が来ないみたいな感じで無い、あった方がいいなと思っています。

委員長　はい、ありがとうございます。

委員　そうですね。観光交流課の仕事を上手くミックスしてコーディネートして、松阪に縁が深い方を呼んで松阪市民の教養を高めるっていうのは非常に良いことだと思ってます。あと実は参考なんですけど今年の 4 月に東京の有明の癌センターが第九を、患者と医者とミックスして公演したんです、非常に感激したというプログラムがあって、松阪でも

小規模だけでもそういうプロジェクトが出来ないかなっていうのは将来的に考えてみたらいかがかなと思ってるだけです。そのパンフレットは私取り寄せることが出来ます。

委員長 はい、ありがとうございます。まあ一応参考のためにね。よろしかったら、こちらに渡して、出来るかどうかはちょっとわかりませんが。

委員 もちろんです。

委員 私も委員さんと同じ考えなんですけれども、テレビ番組でテッドという番組があって、それは自分の足が無くなってでもオリンピックにでて走ったとか、癌を克服してっていうことです。いわゆるスピーチなんですけど、小学校3年生から来年は英語が導入されるという事ですので、自分の思いを表現するみたいな企画があれば、松阪が発端となって日本全国に大きなイベントが開催されればいかがかなとも考えたりもします。

委員長 これは課題ということで。

事務局 そうですね。

委員 津市は英文スピーチ大会の津市長杯を5回ぐらいしている、学校の先生に審査員やってもらわないといけないので学校でやらないと。

事務局 そうですね。

委員 私もシンポジウムで津市の教育委員会が前市長さんとのジョイントをされ、英語が豊かな人と人とのコミュニケーションをつなぐツールであることを、英語教育が間違った方向にいかないようにと、全体で考えて頂けたらと願ってはいるんですけれども。

事務局 それは今後課題とさせていただきます。また教育委員会とも相談させていただきます。

委員長 コンクールみたいになったほうが一所懸命張り合うんですよね。だから、そうするとそういうのをここが主催して、学校単位で何か競争させて、基本的には競争が目的というよりレベルを上げるための競争となる。皆さんのレベルがアップしてくればいいと。

委員 30年度の予定で鑑賞型が多いのかなと思って、私はミュージカルが好きなんです。でも松阪は中々ミュージカル受け入れない。だからミュージカルをしないっていうのは寂しいと個人的には思います。

委員 飯南産業文化センターでは、いくつかのグループが協力し合いながら、ワンコインぐら

いで皆さんに入ってもらって、何か出来ればな、そういう形で産業文化センターを使って頂ければまた生きてくるのではないかと思います。

委員長 お母さんといっしょはいいなと思います。親子向けを 30 年度にも入れてもらっているということには私はとってもいい事かなって、これはもう継続して入れていってあげたいなど、子供達のためにも入れていってもらいたいなっていう事業と思います。松阪の第九ですが、松阪に根付いてきた、お客さんが来ていただいたんですがチケット完売で、かなりの人が帰ったんです。その苦情も頂いたりしました。随分松阪に第九が根付いてきたのかなと言われた、すごくよく頑張っていたいただいていると思います。

事務局 そうですね。完売で帰って頂きましたのは、一人の合唱団員に実行委員会から 3 枚のチケットをお渡ししております。その方がチケットを配ることが出来ず、結果取り込んでしまい、席があいてるのにチケットが無いと状況が生じています。今年はその点を反省し当日券を特別に作成し、会場の中のお客様の入り具合を考慮して、販売したいと考えております。

委員長 ご意見いただいても実現が難しいことが結構多いんだけどね。例えばこの松阪の第九も実は周年事業だけだったんですよ。この会議で毎年やりましょうということでやって、前の市長さんがご覧になって、市長さん自らこれは毎年やるべきということになって、それですって定着してきたということもあります。もう一点この会議で成果が出たのは、毎月出ている催物案内がこれまで非常に見にくかったんです。この場で委員の方からご意見が出て、それを事務局と一緒にやって見やすいものに改めた。この会議から意見が出たということがありますので、また皆さんのご意見を、出来る限り事務局に反映したいと思います。他に何かございますでしょうか。

委員 高田浩吉さんのお孫さんが、交通費だけで来ていただいて歌を歌われるとか、儀間さんという世界一の口笛奏者が多気の方で開催されて、たくさんの集客がありました。、私たちの会では交通費と昼食のお礼ほどの金額で来てくださるんですよ。丸田さんというハーブの方も何かあれば、交通費とご昼食代だけでいいって。そういった奏者がみえるので。

委員 儀間さんは世界チャンプになられたんですね。

委員長 すごいね、これぐらいはね。ワンコインコンサートを何もうちの計画ばかりじゃなくて、四日市は結構独自でやっている。ご存知ないですか。

事務局 聞いた事あります。

委員長 四日市結構ね。ワンコインのマークを使っていますが、お客さんは分らんけど自分ら独

自で2・3本やっているんですよ。それでワンコインってしておいたほうが皆さん来てくれる。是非世界チャンピオンを獲られたような方をやったらと。

委員 高田浩吉さんのお孫さん、高田美和さんたちが歌われてというのがあります。時代を超えた思いのメロディーというものもあるかもしれないので、色んなことが絡んでいい経験でしたがいかがでしょうか。

委員長 そういうのもまた是非ね。候補としては実際に行って見てからご判断されればいいと思いますので。

委員 例えば高齢者と子供の触れ合いが本当に無くなってしまっていると思う。先ほど言った技能の伝承を、高齢者が子どもたちにそのようなことを教える事によって、子供の能力を創意工夫への触発のきっかけにする。そういう教室的なものもを、高齢者が児童と触れ合って技能を伝承できるような教室を開いて、それだったら公民館でも出来るとなり、それが松阪の色んな公民館・集会所で活発に開催するようになる触発的なのを考えてます。そんなミニ教室をこの部屋で開催されないかと考えます。これは思うのは事務局さんだけの宿題じゃないし、我々全員の宿題じゃないかなと思うんです。何かそういうなことがもっとあっていいような気がしておりました。

委員長 伝統芸能の件、一つには芸能なんかは後継者が若い子が入ってこないのが悩みもあって消えちゃっていくものがあって、昔ビデオで撮っておきましょうということがあって、教育委員会がやってました。お婆ちゃんが歌ってる歌とかを、ビデオで撮りましょうというようにもありましたけど、是非研究をされて、どうしたら伝統文化を生かせるかを。もう一つは衣装とか道具とか更新していかないと古くなって使えなくなってくる。ところが、昔の物は何百万とお金がかかるんです。それを岡田文化財団に申請してくれば、修理代の助成をやったりしたりしてくれるんです。またホールに人を集めてやるっていうのも格好いいが、伝統行事は地元でやるから良い場合もありまして、舞台の上でやったら全然つまらないというのが中にはあるんです。盆踊りだったら舞台でやったら全然面白くないじゃないですか。みんなが入って一緒にワイワイやるから面白い。そういうこともありますので、色々ご検討いただいてで、またご意見頂ければ非常にありがたいなと思います。

委員 私が今日本語支援をしているあのフィリピンのお子さん達はとてもダンスが好きで、暇があると大きな鏡の前でダンスの練習をしたりしていて、友好的なものでフィリピンの人達も主役になれるようなダンスっていうのがあれば、とてもエネルギーになると思う。

委員長 はい、ありがとうございます。

副委員長 特にないんですけど。あの、新しく入られた運営委員の方は非常にいろんな思いを持って来て頂いて、会館の方や市の方がそれに対してどう答えたら、少しでもその思いを伝えてもらった事を応えて頂けるかと、大変かと思いますが、非常に前向きなお話ばかりだったので、松阪が少しでも色んな意味で活性化していけばいいかなと思いますので、是非御検討いただいて。

委員 ありがとうございます。僕らにもこんなこと手伝えると。どれだけ手伝えるかはちょっと別ですけどね。お互いそんな形で。年に三回ここに来てただけじゃなくて、普段もテーマを持ってる。

委員長 よそで成功されている例があれば、それをちょっとご紹介すれば、より具体的につかめると思います。ご紹介を是非していただければ。

委員長 よろしいでしょうか。いろいろご意見を賜った第1回でしたけれど、これらもまたよろしく。長時間にわたり活発なご意見ありがとうございました。

事務局 次の会議ですが、例年9月に開催させてもらっており、9月の6日と13日がこの会場が空いてる日になっております。皆様のご都合の方はいかがでしょうか。

委員 13日がありがたいですね。

事務局 では次回、9月13日午後7時から開催させていただきます。よろしくお願いします。

事務局 本日は長時間にわたりご意見をいただきましてありがとうございました。ここでだけで対応できない事もあるかとは思いますが、市全体で考えなければと思うこともありますし、委員さんからワンコインを対応したらどうかという意見もいただきましたので、ワンコインコンサートも対応できればまたそちらも考えさせていただきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。最後になりましたが、議事録作成のために録音させてもらってますのでご了承の方をお願いします。本日はどうもありがとうございました。お帰りの方は気を付けてお帰り下さい。ありがとうございました。